

都市開発の緩和制度の解剖学

destruction of cultural property

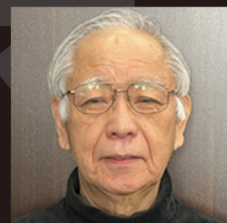
「市民が「裏技開発」に対抗するために」

proliferation of skyscrapers

cutting trees



大方潤一郎
東京大学名誉教授（都市計画）
市民・建築 NET 顧問



水野 統夫
（株）NICE PARTNERS 会長
市民・建築 NET 幹事

街づくりの主役は市民であるはずなのに、市民不在の場所で次々と意思決定がなされていないのでしょうか？
今講座のテーマは「公共空間の私財化と行政の不動産業者化」問題です。二〇〇〇年以降、都市における大規模再開発が徐々に進み、超高層ビルが乱立する事態となっています。二〇二一年以降は東京ビジネス地区のオフィス賃料指数は減少しつつ、二〇二五年に反転方向に向く予測とはいえ、物価上昇と比較すれば横ばいもしくは減少方向と考えられ、再開発によるビル群に対するニーズは脆弱です。また、価値の高い建築物や街などがえの無い文化が破壊されてきた悲しい現実もあり、SDGsを語る一方でSDGsとは真逆の行いで世界の潮流に逆行する企業や行政も見受けられます。このような日本の現状を改善すべく、大方潤一郎東京大学名誉教授が、都市開発や法律の「裏側」を解き明かします。

large-scale redevelopment

urban development

- ▶日時：2025年3月12日（水）17:30～19:00 ごろ（17:15 開場）
- ▶場所：建築家会館 JIA 館1階 建築家クラブ
東京都渋谷区神宮前 2-3-18（東京メトロ銀座線 外苑前駅より約8分）
- ▶参加費：500円（お釣りの無いようご準備願います）
- ▶定員：50名（要予約、先着順）
- ▶参加資格 / 内容：特別の資格は不要ですが、建築関連の基礎知識のある方に向けた内容です
- ▶申込先：メール cit_arch_net1@tmiblove.com
- ▶録画配信：市民・建築 NET サイトにて（2025年4月予定、事前予約不要）
- ▶主催：市民・建築 NET <https://tmiblove.com/>

